

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和6年度】

2025 年 3 月 10 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 150-0002

所在地 東京都渋谷区渋谷3-8-12渋谷第一生命ビルディング7階

評価機関名 株式会社プレパレーション

認証評価機関番号 機構 20 — 253
電話番号 03-6427-7451
代表者氏名 岡 知己

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	井口 淳	経営	H2301023
	②	井上直樹	経営	H2301093
	③	古畑 朋子	福祉	H2301054
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	学童クラブ・児童館			指定番号を入力してください
評価対象事業所名称	神明子ども中高生プラザ			
事業所連絡先	〒	105-0013		
	所在地	東京都港区浜松町1-6-7 5階		
	Tel	03-5733-5199		
事業所代表者氏名	伊舎堂美涼			
契約日	2024 年 7 月 25 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2024 年 10 月 21 日			
利用者調査結果報告日	2024 年 11 月 20 日			
自己評価の調査票配付日	2024 年 10 月 21 日			
自己評価結果報告日	2024 年 11 月 20 日			
訪問調査日	2024 年 12 月 16 日			
評価合議日	2025 年 3 月 10 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	施設を現在利用している登録児童数を対象とした利用者調査をおこないました。施設から利用者調査案内を配布し、紙面にて回答してもらう形式にしました。きょうだいで利用していて、保護者が回答する場合は、年齢が低い方の利用者について回答をしてもらいました。職員へのアンケートも紙面にておこない、鍵付きBOXへ提出してもらったのち、本評価機関に郵送にて回収しました。訪問調査当日は、施設内の見学をしたあと、経営層に質問しながら状況把握に努めました。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、
● 機構が定める部分を公表することに同意します。
○ 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
○ 別添の理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名 印

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定） (1)なりたい自分になる力を育む (2)子育て支援を通じて、笑顔溢れる社会づくり (3)安全＆安心を第一に保育・育成を実施 (4)いつまでも思い出残る施設づくり (5)地域と繋がり支え合う施設
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	(1)職員に求めている人材像や役割 利用者が安心・安全に過ごせるために適切な指導・助言のできる職員の育成を行っています。 また、利用者の意見・悩みを聞くことができ、適切に対処できる職員。
	(2)職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感） 地域の子育ての拠点として、地域の子どもたちを守り、育てているという自覚を持った職員の育成に努めています。

調査対象

調査対象期間に利用があった利用者のうち、72名を対象とし、16名から回答を得た。

調査方法

アンケート方式
アンケート案内文を施設から対象者に配布し、紙面にて回答してもらった方法で実施。

利用者総数

100

共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者総数に対する回答者割合（％）

アンケート	聞き取り	計
72	0	72
16	0	16
22.2	0.0	22.2

利用者調査全体のコメント

総合評価は、「大変満足」が81.2%、「満足」は18.8%「大変満足・満足」を合わせて100%と大変高い評価を得ています。自由記述では「子育て施設をいくつか利用していますが、神明子どもプラザのスタッフさんはとても優しい印象です。特にベテランの先生はママの体のこともいたわって下さったり、声かけが親切で助かっています。」、「イベントをたくさんしてくれるので、それを目的に行くと同じくらいのお子さん、ママと知り合えるのでとても良いと思っています。リトミックなど人気のイベントが増えると嬉しいですが、職員皆さん朗らかで子どもの事も気にかけてくれるので全体として大変満足しています。」といったコメントのほか、イベント予約について、インターネット予約を要望する意見がありました。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 施設の情報（ホームページ、パンフレット等）は、事前に簡単に入手できましたか。	13	2	0	1
この項目では「はい」の回答が81.2%、「どちらともいえない」は12.6%、「無回答・非該当」は6.2%、「いいえ」は0%という結果となり、高い評価を得ています。自由記述では区のページに掲載されている情報量についての意見がありました。				
2. その情報は、わかりやすい内容になっていましたか。	14	1	0	1
この項目では「はい」の回答が87.5%、「どちらともいえない」は6.2%、「無回答・非該当」は6.2%「いいえ」は0%という結果となり、高い評価を得ています。コメントはありませんでした。				
3. 施設で開催されるイベント等の情報は事前にパンフレットやホームページ等で簡単に入手できましたか。	15	1	0	0
この項目では「はい」の回答が93.8%、「どちらともいえない」は6.2%、「いいえ」「無回答・非該当」は0%という結果となり、大変高い評価を得ています。自由記述では「区役所にもおいてありますぐ入手できました」というコメントのほか、施設のホームページの視認性についての意見がありました。				

4. 施設で友人ができましたか。	9	4	3	0
この項目では「はい」の回答が56.3%、「どちらともいえない」は25%、「いいえ」は18.8%、「無回答・非該当」は0%という結果となりました。自由記述では生活環境が変わっていくなかで継続はされなかったという意見がありました。				
5. 施設を利用する際に守べきルール（きまり）は、わかりやすいものになっていますか。	13	0	3	0
この項目では「はい」の回答が81.3%、「どちらともいえない」は18.8%「いいえ」「無回答・非該当」は0%という結果となり、高い評価を得ています。施設内での子どもに対する保護者の対応を注意してほしいといった意見がありました。				
6. 遊具やスペースは、利用者が自由に使えるようになっていますか。	15	1	0	0
この項目では「はい」の回答が93.8%、「どちらともいえない」は6.3%、「いいえ」「無回答・非該当」は0%という結果となり、大変高い評価を得ています。自由記述では時間帯を問わず解放してほしいといった意見がありました。				
7. 施設で提供している乳幼児向けの事業（行事・相談・講座・プログラム等）に参加したことはありますか。	15	0	1	0
この項目では「はい」の回答が93.8%、「いいえ」は6.3%、「どちらともいえない」「無回答・非該当」は0%という結果となり、大変高い評価を得ています。コメントはありませんでした。				
8. 施設では利用者のニーズを踏まえた事業・活動が行われていると思いますか。	15	1	0	0
この項目では「はい」の回答が93.8%、「どちらともいえない」は6.3%、「いいえ」「無回答・非該当」は0%という結果となり、大変高い評価を得ています。自由記述では「ハロウィンイベントが楽しかったです。成分表添付も心遣いに感動しました。」というコメントのほか、英語イベントの実施を望む意見がありました				
9. 施設で提供している事業（行事・相談・講座・プログラム等）の内容に満足していますか。	14	1	1	0
この項目では「はい」の回答が87.5%、「いいえ」は6.3%「無回答・非該当」は6.3%「どちらともいえない」は0%という結果となり、大変高い評価を得ています。コメントはありませんでした。				
10. 施設は気軽に利用できるような環境、雰囲気はありますか。	15	1	0	0
この項目では「はい」の回答が93.8%、「どちらともいえない」は6.2%と大変高い評価を得ています。コメントはありませんでした。				

11. 施設で子育てに関する情報提供や支援を受けたことがありますか。	10	0	5	1
この項目では「はい」の回答が62.5%、「いいえ」は31.3%、「無回答・非該当」は6.3%、「どちらともいえない」は20%という結果となりました。コメントはありませんでした。				
12. 施設で職員に相談したことはありますか。	4	5	7	0
この項目では「はい」の回答が25%、「どちらともいえない」は31.3%、「いいえ」は43.8%、「無回答・非該当」は0%という結果となりました。コメントはありませんでした。				
13. 相談したとき、職員はあなたの話や相談を親身になって聞きましたか？	4	0	0	12
この項目では「はい」の回答が25%、「無回答・非該当」は75%、「どちらともいえない」「いいえ」は0%、という結果となり、問12より相談経験がある方からは100%と非常に高い評価だと推測できます。コメントはありませんでした。				
14. 施設では個人情報やプライバシーに関する配慮がなされていますか。	13	1	1	1
この項目では「はい」の回答が81.3%、「どちらともいえない」は6.3%、「いいえ」は6.3%、「無回答・非該当」は6.3%という結果となり、高い評価を得ています。自由記述ではイベント時の写真撮影ルールや管理方法についての意見がありました。				
15. 施設は要望・意見などを言いやすい雰囲気がありますか。	12	1	0	3
この項目では「はい」の回答が75%、「どちらともいえない」は6.3%、「無回答・非該当」は18.8%「いいえ」は0%、という結果となり、高い評価を得ています。実際の要望をこのコメントへ意見の記載がありました。				
16. 施設は要望・意見に対して適切に対応してくれますか。	12	0	0	4
この項目では「はい」の回答が75%、「無回答・非該当」は25%「どちらともいえない」「いいえ」は0%という結果となりました。特別なコメントはありませんでした。				
17. 施設では利用や行事等への参加について、地域へ積極的な働きかけが行われていると思いますか。	15	0	0	1
この項目では「はい」の回答が93.8%、「無回答・非該当」は6.3%「どちらともいえない」「いいえ」は0%という結果となり、大変高い評価を得ています。コメントはありませんでした。				

18. 施設では地域の人たちと連携しながら活動が行われていると思いますか。	14	0	0	2
この項目では「はい」の回答が87.5%、「無回答・非該当」は12.5%「どちらともいえない」「いいえ」は0%という結果となり、高い評価を得ています。コメントはありませんでした。				
19. 障害のある利用者への対応は、十分なされていると思いますか。	8	2	0	6
この項目では「はい」の回答が50%、「どちらともいえない」は12.5%、「無回答・非該当」は37.5%、「いいえ」は0%となり、対象者からは8割程好意的な回答を得られています。コメントはありませんでした。				
20. 施設の施設やトイレ等の設備は、利用しやすいように配慮がなされていると思いますか。	15	1	0	0
この項目では「はい」の回答が93.8%、「どちらともいえない」は6.3%、「いいえ」「無回答・非該当」は0%という結果となり、大変高い評価を得ています。自由記述では「手にやさしい石けんやハンドタオルがあって有り難い。」といったコメントがありました。				
21. 施設内は安全対策が十分とられていると思いますか。	9	0	1	0
この項目では「はい」の回答が93.8%、「どちらともいえない」は6.3%、「いいえ」「無回答・非該当」は0%という結果となり、高い評価を得ています。自由記述では年齢が高い子どもとの共有スペースでの活動に対する不安の意見がありました。				
22. 施設内は衛生的で清掃などがしっかり行われていると思いますか。	13	0	3	0
この項目では「はい」の回答が81.3%、「どちらともいえない」は18.8%、「いいえ」「無回答・非該当」は0%という結果となり、高い評価を得ています。自由記述では「床がピカピカです。」「棚の下やペーパータオルの入れ物の中があまり綺麗ではない」といったコメントがありました。				

調査対象

対象施設の登録児童数を調査対象とし、アンケートにて調査をおこなった。17世帯より回答を得た。回答は対象児童もしくは保護者が利用者の様子を推察し、回答を依頼した。

調査方法

アンケート方式
アンケート案内文を園から全世帯に配布し、紙面にて回答してもらう方法で実施。

利用者総数

58

共通評価項目による調査対象者数

58

共通評価項目による調査の有効回答者数

17

利用者総数に対する回答者割合(%)

29.3

アンケート	聞き取り	計
58	0	58
17	0	17
29.3	0.0	29.3

利用者調査全体のコメント

総合評価は、「大変満足」が58.8%、「満足」は29.4%、「どちらともいえない」が5.9%、「不満」が5.9%という結果となり、「大変満足・満足」を合わせて88.2%という、高い評価を得ています。自由記述では「2時からプレイルームで遊べて楽しい時間がいっぱい過ごせます。」「時間を過ごすと言う点においてはそれなりに楽しくしていると思います。」というコメントのほか、体育館の遊べる時間を伸ばしてほしい、新しい体験やレクリエーションの申し込みなどは一人では難しい、という意見が寄せられていました。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 学童クラブでの活動は楽しく、興味の持てるものとなっているか	11	3	1	2
この項目では「はい」の回答が64.7%、「どちらともいえない」は17.6%、「いいえ」が5.9%、「無回答・非該当」は11.8%という結果となりました。この項目のコメントはありませんでした。				
2. 職員は話し相手や、相談相手になってくれるか	7	5	1	4
この項目では「はい」の回答が41.2%、「どちらともいえない」は29.4%、「いいえ」が5.9%、「無回答・非該当」は23.5%という結果となりました。この項目のコメントはありませんでした。				
3. おやつ時間が楽しいひとときになっているか	13	2	0	2
この項目では「はい」の回答が76.4%、「どちらともいえない」は11.8%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は11.8%という結果となりました。この項目のコメントはありませんでした。				

4. 学童クラブでの約束ごと、活動内容について話し合う機会を設け、職員は意見を尊重してくれているか	11	0	0	6
この項目では「はい」の回答が64.7%、「どちらともいえない」、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は35.3%という結果となりました。この項目のコメントはありませんでした。				
5. 職員から学童クラブの約束ごとの説明を受けているか	10	2	1	4
この項目では「はい」の回答が58.8%、「どちらともいえない」は11.8%、「いいえ」が5.9%、「無回答・非該当」は23.5%という結果となりました。この項目のコメントはありませんでした。				
6. 学童クラブ内の清掃、整理整頓は行き届いているか	5	6	2	4
この項目では「はい」の回答が29.4%、「どちらともいえない」は35.3%、「いいえ」が11.8%、「無回答・非該当」は23.5%という結果となりました。自由記述では、本棚が整理されていない、という意見が寄せられていました。				
7. 職員の接遇・態度は適切か	13	2	1	1
この項目では「はい」の回答が76.4%、「どちらともいえない」は11.8%、「いいえ」が5.9%、「無回答・非該当」は5.9%という結果となりました。この項目のコメントはありませんでした。				
8. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	13	0	0	4
この項目では「はい」の回答が76.5%、「どちらともいえない」、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は23.5%という結果となりました。自由記述では「発熱した時、横にして休ませてくれました。」というコメントのほか、自分で表現が上手く出来ないの、職員が気付いてくれないと難しい、という意見が寄せられていました。				
9. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	12	1	2	2
この項目では「はい」の回答が70.5%、「どちらともいえない」は5.9%、「いいえ」が11.8%、「無回答・非該当」は11.8%という結果となりました。自由記述では「職員さんの目が届く所では助けてくれていると思います。」というコメントのほか、子ども達だけの時は困っている時もある、という意見が寄せられていました。				
10. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	8	4	1	4
この項目では「はい」の回答が47.1%、「どちらともいえない」は23.5%、「いいえ」が5.9%、「無回答・非該当」は23.5%という結果となりました。この項目のコメントはありませんでした。				

11. 子どものプライバシーは守られているか	7	1	0	9
この項目では「はい」の回答が41.2%、「どちらともいえない」は5.9%、「いいえ」が0%、「無回答・非該当」は52.9%という結果となりました。この項目のコメントはありませんでした。				
12. 子どもの不満や要望は対応されているか	11	2	1	3
この項目では「はい」の回答が64.7%、「どちらともいえない」は11.8%、「いいえ」が5.9%、「無回答・非該当」は17.6%という結果となりました。この項目のコメントはありませんでした。				
13. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	4	2	4	7
この項目では「はい」の回答が23.5%、「どちらともいえない」は11.8%、「いいえ」が23.5%、「無回答・非該当」は41.2%という結果となりました。この項目のコメントはありませんでした。				

調査対象

調査対象期間に利用があった利用者のうち、56名を対象とし、25名から回答を得た。

調査方法

アンケート方式
アンケート案内文を施設から対象者に配布し、紙面にて回答してもらった方法で実施。

利用者総数

100

共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者総数に対する回答者割合（％）

アンケート	聞き取り	計
56	0	56
25	0	25
44.6	0.0	44.6

利用者調査全体のコメント

総合評価は、「大変満足」が36%、「満足」は44%、「どちらともいえない」が8%、「不満」が12%という結果となり、「大変満足・満足」を合わせて80%と高い評価を得ています。自由記述では欲しいおもちゃや遊びのルールに対する意見のほか、「いっぱいお友達ができとても嬉しい」といったコメントがありました。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1.『神明子ども中高生プラザ』は、楽しいですか？	14	7	1	3
この項目では「はい」の回答が56%、「どちらともいえない」は28%、「いいえ」は4%「無回答・非該当」は12%という結果となりました。コメントはありませんでした。				
2.『神明子ども中高生プラザ』の中では、のびのびと過ごせますか？	17	6	1	1
この項目では「はい」の回答が68%、「どちらともいえない」は24%、「無回答・非該当」は4%、「いいえ」は4%という結果となりました。コメントはありませんでした。				
3.『神明子ども中高生プラザ』では、新しい友達はできましたか？	19	5	1	0
この項目では「はい」の回答が76%、「どちらともいえない」は20%、「いいえ」は4%、「無回答・非該当」は0%という結果となり、高い評価を得ています。コメントはありませんでした。				

4.『神明子ども中高生プラザ』でやってみたいこと、やりたい遊びはありますか？	19	2	2	2
この項目では「はい」の回答が76%、「どちらともいえない」は8%、「いいえ」は8%、「無回答・非該当」は8%という結果となり、高い評価を得ています。自由記述ではスイッチやローラーが欲しいといった意見がありました。				
5.『神明子ども中高生プラザ』のみんなで使う場所は片付いていると思いますか？	10	5	4	6
この項目では「はい」の回答が40%、「どちらともいえない」は20%、「いいえ」は16%、「非該当」は24%という結果となりました。コメントはありませんでした。				
6.あなたは、『神明子ども中高生プラザ』の職員に気軽に話をしたり相談したりすることができますか？	15	4	2	4
この項目では「はい」の回答が60%、「どちらともいえない」は16%、「いいえ」は8%、「無回答・非該当」は16%という結果となり、一定の評価を得ています。コメントはありませんでした。				
7.あなたが何かしたいと言ったとき、『神明子ども中高生プラザ』の職員はそのことについて話を聞いてくれますか？	13	7	1	4
この項目では「はい」の回答が52%、「どちらともいえない」は28%、「いいえ」は4%、「無回答・非該当」は16%という結果となり、一定の評価を得ています。コメントはありませんでした。				
8.子ども同士のけんかや言い争いがあった時に、『神明子ども中高生プラザ』の職員は間に入ってくれますか？	16	3	1	5
この項目では「はい」の回答が64%、「どちらともいえない」は12%「いいえ」は4%、「無回答・非該当」は20%という結果となり、一定の評価を得ています。コメントはありませんでした。				
9.『神明子ども中高生プラザ』の職員は他の人に知られたくないことや内緒の話などの秘密を守ってくれますか？	15	3	1	6
この項目では「はい」の回答が60%、「どちらともいえない」は12%「いいえ」は4%「無回答・非該当」は24%という結果となりました。コメントはありませんでした。				
10.『神明子ども中高生プラザ』でやってはいけない事について、職員は、なぜいけないのか説明してくれますか？	15	2	2	6
この項目では「はい」の回答が60%、「どちらともいえない」は8%、「いいえ」は8%、「無回答・非該当」は24%という結果となりました。コメントはありませんでした。				

11. あなたがあまり元気がない時や、気分がすぐれない時『神明子ども中高生プラザ』の職員は声をかけてくれますか？	20	2	0	3
この項目では「はい」の回答が80%、「どちらともいえない」は8%、「無回答・非該当」は12%、「いいえ」は0%という結果となり、高い評価を得ています。コメントはありませんでした。				
12. あなたが利用している時に熱を出したり、ケガをしてしまった時には『神明子ども中高生プラザ』の職員が家に連絡をとるなど何か対応してくれますか？	18	3	0	4
この項目では「はい」の回答が72%、「どちらともいえない」は3%、「無回答・非該当」は16%、「いいえ」は0%という結果となり、高い評価を得ています。コメントはありませんでした。				
13. 『神明子ども中高生プラザ』に地域の人がボランティアに来てくれたり、外での活動の時に地域の人と一緒に遊んだりする機会はありますか？	10	3	3	9
この項目では「はい」の回答が40%、「どちらともいえない」は12%、「いいえ」は12%、「無回答・非該当」は36%という結果となりました。コメントはありませんでした。				
14. 台風、地震、火災が起きた時は、どのように避難するのかなど、『神明子ども中高生プラザ』の職員から聞いていますか？	17	1	5	2
この項目では「はい」の回答が68%、「どちらともいえない」は4%、「いいえ」は20%、「無回答・非該当」は8%という結果となりました。コメントはありませんでした。				

調査対象

調査対象期間に利用があった利用者のうち、30名を対象とし、16名から回答を得た。

調査方法

アンケート方式
アンケート案内文を施設から対象者に配布し、紙面にて回答してもらう方法で実施。

利用者総数

共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者総数に対する回答者割合（％）

アンケート	聞き取り	計
30	0	30
16	0	16
53.3	0.0	53.3

利用者調査全体のコメント

総合評価は、「大変満足」が75%、「満足」は25%、「大変満足・満足」を合わせて100%と大変高い評価を得ています。自由記述ではスタジオ設備への満足感が伺える意見がありました。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 施設の情報（ホームページ、パンフレット等）は、事前に簡単に入手できましたか。	6	4	1	5
この項目では「はい」の回答が37.5%、「どちらともいえない」は25%、「いいえ」は6.2%、「無回答・非該当」は31.2%という結果となりました。自由記述では友人の紹介で利用を始めたといった意見がありました。				
2. その情報は、わかりやすい内容になっていましたか。	6	6	0	4
この項目では「はい」の回答が37.5%、「どちらともいえない」は37.5%、「無回答・非該当」は25%、「いいえ」は0%という結果となりました。自由記述で「もっと雰囲気がわかるようにしてほしい」といったコメントがありました。				
3. 施設で開催されるイベント等の情報は事前にパンフレットやホームページ等で簡単に入手できましたか。	5	5	2	4
この項目では「はい」の回答が31.2%、「どちらともいえない」は31.2%、「いいえ」は12.5%、「無回答・非該当」は25%という結果となりました。コメントはありませんでした。				

4. 施設を利用する際を守るべきルール（きまり）は、わかりやすいものになっていますか。	16	0	0	0
この項目では「はい」の回答が100%という結果となり、大変高い評価を得ています。コメントはありませんでした。				
5. 施設は日常的に中高生だけで使える場や時間を設定していると思いますか。	13	2	1	0
この項目では「はい」の回答が81.2%、「どちらともいえない」は12.5%、「いいえ」は6.2%「無回答・非該当」は0%という結果となり、大変高い評価を得ています。コメントはありませんでした。				
6. あなたは、施設で異年齢や他校の人と友達になる機会がありますか。	6	4	6	0
この項目では「はい」の回答が37.5%、「どちらともいえない」は25%、「いいえ」は37.5%、「無回答・非該当」は0%という結果となりました。コメントはありませんでした。				
7. あなたは、施設で乳幼児や小学生と交流する機会がありますか。	8	3	5	0
この項目では「はい」の回答が50%、「どちらともいえない」は18.7%、「いいえ」は31.2%、「無回答・非該当」は0%という結果となりました。コメントはありませんでした。				
8. 施設の設備やスペースは、利用者が自由に使えるようになっていると思いますか。	14	1	0	1
この項目では「はい」の回答が87.5%、「どちらともいえない」は6.2%、「無回答・非該当」は6.2%、「いいえ」は0%という結果となり、高い評価を得ています。コメントはありませんでした。				
9. 施設では利用者のニーズを踏まえた事業・活動が行われていると思いますか。	11	3	0	2
この項目では「はい」の回答が68.7%、「どちらともいえない」は18.7%、「無回答・非該当」は12.5%、「いいえ」は0%という結果となり、大変高い評価を得ています。コメントはありませんでした。				
10. 施設に対する意見等を気軽に言えるような環境・雰囲気になっていますか。	13	1	0	2
この項目では「はい」の回答が81.2%、「どちらともいえない」は6.2%、「無回答・非該当」は12.5%、「いいえ」は0%という結果となり、高い評価を得ています。コメントはありませんでした。				

11. 施設は利用者からの意見や提案に対してすぐに対処してくれますか。	8	3	1	4
この項目では「はい」の回答が50%、「どちらともいえない」は18.7%、「無回答・非該当」は6.2%、「いいえ」は25%という結果となり、高い評価を得ています。依頼に対する対処の進捗についての意見がありました。				
12. 施設に苦情や意見があった場合、プラザにそれを伝える方法について知っていますか。	10	2	3	1
この項目では「はい」の回答が62.5%、「どちらともいえない」は12.5%、「いいえ」は18.7%、「無回答・非該当」は6.2%という結果となり、高い評価を得ています。コメントはありませんでした。				
13. あなたは施設の職員に気軽に話をしたり、相談したりすることができますか。	11	3	0	2
この項目では「はい」の回答が68.7%、「どちらともいえない」は18.7%、「無回答・非該当」は12.5%、「いいえ」は0%という結果となり、高い評価を得ています。コメントはありませんでした。				
14. 子どもや中高生同士のトラブルがあった時、施設の職員は間に入ってくれますか。	9	2	0	5
この項目では「はい」の回答が56.2%、「どちらともいえない」は12.5%、「無回答・非該当」は31.2%、「いいえ」は0%という結果となりました。コメントはありませんでした。				
15. 職員は個々の利用者の状況などを考えた接し方をしていると思いますか。	13	0	0	3
この項目では「はい」の回答が81.2%、「無回答・非該当」は18.7%、「どちらともいえない」「いいえ」は0%という結果となり、高い評価を得ています。コメントはありませんでした。				
16. 施設の職員に相談をした内容が、他人に漏れていたというような経験はありませんか。	9	0	4	3
この項目では「はい」の回答が56.2%、「いいえ」は25%、「無回答・非該当」は18.7%「どちらともいえない」は0%という結果となりました。コメントはありませんでした。				
17. 障がいのある利用者への対応は、十分なされていると思いますか。	11	1	0	4
この項目では「はい」の回答が68.7%、「どちらともいえない」は6.2%、「無回答・非該当」は25%、「いいえ」は0%という結果となり、高い評価を得ています。コメントはありませんでした。				

18. 施設の施設やトイレ等の設備は、利用しやすいように配慮がなされていると思いますか。	13	1	0	2
この項目では「はい」の回答が81.3%、「どちらともいえない」は6.2%、「無回答・非該当」は12.5%、「いいえ」は0%という結果となり、大変高い評価を得ています。コメントはありませんでした。				
19. 台風、地震、火災が起きたときは、どのように避難するかなど、施設の職員から聞いていますか？	5	4	4	3
この項目では「はい」の回答が31.2%、「どちらともいえない」は25%、「いいえ」は25%、「無回答・非該当」は18.7%という結果となりました。コメントはありませんでした。				
20. 施設では地域の人たちと連携しながら活動が行われていると思いますか。	11	4	1	0
この項目では「はい」の回答が68.8%、「どちらともいえない」は25%、「いいえ」は6.2%、「無回答・非該当」は0%という結果となり、高い評価を得ています。コメントはありませんでした。				
21. 施設は、あなたにとってよいところだと思いますか。	14	1	0	1
この項目では「はい」の回答が87.5%、「どちらともいえない」は6.2%、「無回答・非該当」は6.2%、「いいえ」は0%という結果となり、高い評価を得ています。自由記述では「大好き」といったコメントがありました。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	☒ あり ☐ なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ☐ 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	☒ あり ☐ なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ☐ 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	☒ あり ☐ なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ☐ 非該当
	カテゴリ1の講評	
	目指している理念などを掲示やミーティングでの共有により職員に周知しています 目指している理念やビジョン、基本方針などについて、職員の理解が深まるように、事務室に掲示をおこない、いつでも振り返りができるようにしています。また、ミーティングなどでも定期的に共有し、理念に基づいた運営ができているかの確認をおこなっています。行動指針であるクレドを職員が携帯して、常に見ることが出来るように指導をしています。また、事務室内に業務マニュアルを設置して、誰がいつでも確認が出来るようにしています。	
	理念などを幅広く周知して、利用者やその家族の理解が深まるように努めています 目指している理念やビジョン、基本方針などについて、利用者本人や家族などの理解を深めるため、利用者が見える受付などに掲示しています。毎月作成するおたよりにも、月の目標や方針を記載し、地域懇談会や保護者会などを通じて年間の目標や方針を伝える場を設けています。また、ホームページへの理念の記載などをおこなうことで幅広く周知しています。	
	重要な案件の検討や決定について、職員や利用者への周知に努めています 重要な案件の検討や決定の手順を業務マニュアルに記載して、職員に周知しています。決裁権限基準を定め、基準に則った決定をおこなっています。重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知するため、重要な決定については、施設長会やエリアミーティングを通じて発信しています。また、共有して閲覧できる社内掲示板システムなどを通じて各自で確認することができる環境を整備しています。利用者に対しては、ホームページやおたより、館内掲示などで広く公表し、地域懇談会や保護者会での説明もおこなっています。	

2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行 サブカテゴリ1(2-1) 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している 評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している 評価 標準項目 ●あり ○なし 1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している ○非該当 ●あり ○なし 2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している ○非該当 ●あり ○なし 3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している ○非該当 ●あり ○なし 4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している ○非該当 ●あり ○なし 5. 事業所の経営状況を把握・検討している ○非該当 ●あり ○なし 6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している ○非該当		
サブカテゴリ2(2-2) 実践的な計画策定に取り組んでいる サブカテゴリ毎の標準项目实施状況 5/5 評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している 評価 標準項目 ●あり ○なし 1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している ○非該当 ●あり ○なし 2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している ○非該当 ●あり ○なし 3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている ○非該当 評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる 評価 標準項目 ●あり ○なし 1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している ○非該当 ●あり ○なし 2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる ○非該当		

3			カテゴリー3	
経営における社会的責任				
サブカテゴリー1(3-1)				
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 2/2	
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)				
評価		標準項目		
☒ あり ☐ なし		1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる		☐ 非該当
☒ あり ☐ なし		2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。		☐ 非該当
サブカテゴリー2(3-2)				
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている			サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4	
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)				
評価		標準項目		
☒ あり ☐ なし		1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		☐ 非該当
☒ あり ☐ なし		2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		☐ 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)				
評価		標準項目		
☒ あり ☐ なし		1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		☐ 非該当
☒ あり ☐ なし		2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		☐ 非該当

サブカテゴリ-3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況
		5 / 5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	☐ 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	☐ 非該当
カテゴリー3の講評 守るべき法などの周知に努め、継続的な確認などをおこなうことで徹底しています 全職員に対して、社会人及び福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・個人の尊厳を含む倫理などを周知し、理解が深まるように入社時に業務マニュアルを確認する機会を設け、内容の把握を徹底しています。月に1度、「安全テスト」としてマニュアルの中からテストを出題することで、継続的な確認をおこなっています。さらに、定期的な研修の実施や、ミーティングでの振り返り、マニュアルを事務室内にいつでも閲覧可能な状態で設置することでも周知を徹底しています。 子どもに対する不適切な対応が無いようにマニュアル整備や防止対策をしています 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動がないように組織的に防止対策を徹底しています。業務マニュアルに子どもへの関わり方について記載をし、それにもとづいて対応しています。毎日のミーティングにおいて、職員の気になる対応などは話し合い、改善すべきことを共有しています。さらに、他の施設で起きた事例などを共有し、自施設に置き換えた場合を検討して、改善策を考えています。万が一、虐待などの可能性を把握した際には、虐待マニュアルに沿って対応し、児童相談所や子ども家庭支援センターとの連携をおこないます。 幅広い年齢の子どもが利用できる利点を生かした地域との連携をおこなっています 地域のイベントや学校行事に積極的に参加し、地域との関係づくりに努めています。中高生のイベントに地域のボランティアの方に来ていただくなど、中高生も地域の一員であるということを感じられる取り組みをおこなっています。また、中高生が主体的に小学生のプログラムにボランティアとして参加し、成長を感じられる機会となっています。地域懇談会では、施設での活動についてのご意見を頂く機会として地域の方との情報共有をおこない、地域の子育て支援の拠点となっています。		

4 カテゴリー4		
リスクマネジメント		
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準项目实施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	☐ 非該当
サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の 標準项目实施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	☐ 非該当
カテゴリー4の講評		
さまざまなリスクに対して対応手順などを定め、訓練実施をおこなっています 事故や感染症、不審者の侵入、災害、経営環境の変化などのさまざまなリスクに対応するため、災害や不審者の侵入への対応時の手順を確認し、訓練を毎月実施しています。また、事故や感染症については、未然に防ぐためにマニュアルの遵守や日々の清掃や消毒を徹底しています。業務マニュアルには、さまざまな緊急時の対応方法を記載しています。怪我や事故などの対応については、報告連絡体制を事務所に掲示し、迅速かつ的確に関係機関と連携がとれる体制を整えています。 アクシデント発生の際には、迅速に対応し、情報を共有して再発防止に努めています アクシデントが発生した際には、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組むため、所管課に対して事件事故連絡票を提出し、その中で分析をおこない再発防止策を講じています。本部の安全管理委員会へアクシデントレポートを提出し、情報の共有を図っています。法人内の運営施設で重大なアクシデントが発生した際には、全運営施設に速やかに共有し、各施設に置き換えた場合の再発防止策を職員で検討し、類似のアクシデントが起らないように努めています。 情報漏洩防止のために、重要な情報の取り扱いなどのルールを定めて管理しています 情報漏洩防止のため、個人情報の取り扱いなどのルールや書類の記録方法、廃棄などを業務マニュアル内で定めています。個人情報などの重要度の高い書類については、ファイルごとにまとめ鍵のかかる場所に保管しています。電子データで保管する場合は、デバイスやファイルにパスワードを設定することで、機密性を高めています。さらに、個人情報を入力するデバイスはオフライン環境で使用し、外部のストレージデバイスの接続もできないように管理しています。		

5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	☐ 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	☐ 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	☐ 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	☐ 非該当

サブカテゴリー2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 3 / 3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に 取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	☐ 非該当
カテゴリー5の講評		
ミスマッチの防止や待遇改善などに努め、人材確保に取り組んでいます 採用募集に応募があった際には、施設長面接をして施設に合った人材を確保する工夫をし、入社後のギャップがないように業務についての説明も丁寧におこないます。時給の見直しや処遇改善、補助金制度の自治体への提言など、魅力的な待遇だと感じられるように努めています。アルバイト職員に対して放課後児童支援員の資格の取得を促進するために、勤務時間内での受講やアルバイト役割任命制度によって、ステップアップの機会を確保しています。社員に対してメンター制度を導入し、困りごとなどを相談しやすい環境を整えています。 等級別の職務や職責を明確にし、長期的なキャリアパスを設定しやすくしています 職務要件定義にて等級別に職員に求めることを定め、周知しています。職務要件定義の内容を年に2回のフィードバックで確認し、職務内容に応じた長期的なキャリアパスが職員に分かりやすいようにしています。また、等級別の研修を実施し、求められている職務内容や職責が確実に周知できるようにしています。新年度が始まる前に運営施設全体の配属調整をおこない、責任者を含めた職員の力量や経験年数、保有資格を参考に、安定した運営ができる配置をおこなっています。また、役割ごとに昇格を視野に入れた職員育成ができる体制を整えています。 就業状況の確認や、相談できる環境の整備、良好な人間関係の構築に努めています 安心して働き続けられるために就業状況を把握し、残業が発生しないように施設長が業務を割り振っています。また、有休休暇の取得義務日数を定め、取得を徹底しています。四半期ごとの面談で職員の意識や意欲の確認や、悩みごとの相談を受けるほか外部相談窓口も設けており、仕事や私生活のことでも相談できる環境を整備しています。職員間の良好な人間関係構築のため、事務業務やイベントを担当制にし、ペアやグループで協力することで職員間のコミュニケーションが取れる工夫をしています。		

7		事業所の重要課題に対する組織的な活動
サブカテゴリ1(7-1)		
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている		
評価項目1		
事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)		
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)		
学童クラブでは近隣保育園などの地域との連携行事を通して地域連携を強化することを目標としました。この目標を設定した背景として、近年「小1の壁」という言葉があるように、保育園から小学校へのギャップを感じる子ども達が増加している社会情勢と、施設の中でも小学校や学童期に気になる児童が増えていることがあったためです。具体的な取り組みとして、同じ建物に保育園があるため、年長クラスと6月と8月に交流をおこないました。保育園での本の読み聞かせや、体育館を使ったイベントを開催し、小学生と一緒に体を動かすプログラムにすることで、学童の雰囲気を知ってもらうきっかけになりました。また、年度末には、保育園の先生との情報交換をおこない、配慮の必要な児童の対応についての情報共有をしました。これまで関係を作ってきた地域との関わりを継続することができ、保育園との連携をおこなった事で、新一年生の学童の行き渋りも少ないように感じられます。同じ建物に保育園があるという特徴を活かして連携が取れたことや、事前に配慮の必要な児童についての情報交換をおこなったことにより、保護者や児童への対応が前もって準備できたことが良い結果につながったと考えています。		
目標の設定と取り組み	☒ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ☐ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ☐ 具体的な目標が設定されていなかった	
取り組みの検証	☒ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ☐ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である	
検証結果の反映	☒ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ☐ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である	
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評		
近隣の保育園などと交流をおこない、地域の連携強化を目指す取り組みです。保護者ではなく子どもの視点で、未就学児が小学校へ進学した際に、その環境の変化にギャップを感じてしまうことに課題を感じ目標設定としています。同じ建物に保育園が併設されている特徴を活かして、保育園の年長クラスと小学生が交流するイベントを企画しています。小学生が保育園へ行き、保育園児に対して読み聞かせをおこなったり、体育館を使用して保育園児と小学生と一緒に体を動かすイベントをおこなったりして、保育園との交流を図っています。さらにはこどもたちの交流のみではなく、職員同士で情報交換などもおこない、こどもたちが小学校へ就学した後の対応が円滑におこなえる工夫をしています。保育園との交流以外にも、小学生のイベントに中高生がボランティアとして参加できる取り組みをおこなっています。また、異なる年代のこどもたちが交流できる機会を設けています。今後も、対象年齢が比較的幅広い施設であることの利点を活かして、さまざまな年代の方や、地域との交流ができるように取り組んでいくことが期待されます。		

評価項目2 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ) 異動などにより職員の一定数の入れ替わりがあるため、職員に対する業務の各種マニュアルの周知や、マニュアルに沿った育成ができているかの日常的な確認をおこない、職員の教育を図り、新規イベントの考案など、積極的に新しいことにチャレンジしていく体制を整えることを目標としました。恒例行事については、詳細な反省や改善点、役割分担などを記して、振り返りが出来るように整理をおこしました。コロナ禍を経て変化した部分も大きい為、過去の反省を活かして恒例行事をさらに良いイベントにできる工夫をおこないました。近隣の竹芝地区の新しいイベントへの参加や、地域のボランティア活動の受け入れをすることで、近隣地域と児童館を繋げることができました。また、ダンスや工作などの、職員が得意なことを毎月の「特別イベント」として企画しました。これらの取り組みにより、職員のやりがいやモチベーションの向上に繋がりました。マニュアルの内容周知については、定期的にミーティングで内容確認をおこなうことで、着実に職員全員に周知を徹底しました。	
目標の設定と取り組み	☒ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ☐ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ☐ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	☒ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ☐ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	☒ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ☐ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目2で確認した組織的な活動や評価の選択に関する講評 職員の教育を図り、積極的に新しいことにチャレンジしていく体制を整えることを目標としています。職員教育において、定期的なミーティングにてマニュアルの内容確認をおこなうことを基本としています。その他にも、入社時における7日間研修や、安全管理、コンプライアンス、STEAM教育などの多様な研修を用意することで、職員の教育をおこなっています。評価者研修などの管理職向けの研修もおこない、職員教育が円滑におこなわれるように取り組んでいます。恒例イベントの実施に当たっては、コロナ禍で変化した社会情勢などを考慮して改善をおこなっています。新しい取り組みとして、近隣の竹芝地区の新規イベントへの参加や、地域のボランティア活動を積極的に受け入れること、職員の特技を活かして毎月イベントを企画することなどを始めています。これらの取り組みにより、職員の積極的なチャレンジをおこなう姿勢が見受けられます。今後も積極的に新しいことにチャレンジしていくことが期待されます。	

Ⅱ サービス提供のプロセス項目（カテゴリー6-1～3、6-5～6）

No.	共通評価項目		
	サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	4 / 4
	評価項目1 子どもや保護者等に対してサービスの情報を提供している		
	評点(〇〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	☒ あり ☐ なし	1. 子どもや保護者が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	2. 子どもや保護者の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	3. 事業所の情報を、行政や保育所、幼稚園等に提供している	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	4. 子どもや保護者の問い合わせや見学等の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	☐ 非該当
	サブカテゴリー1の講評		
	多様な媒体の活用を通じて、施設の情報を発信しています 施設の情報は施設パンフレットや毎月のおたよりを作成し、関係機関である保健所や区役所にも配布するほか、ホームページにも掲載しています。さらに、SNSを活用し、乳幼児の保護者や中高生世代にも届きやすい形で情報を公開することで子どもや保護者が施設の情報を手軽に得られる工夫をしています。多様な媒体の活用を通じて施設の情報を発信しています。学校で実施される就学前説明会に参加し、新1年生の保護者に向けた案内やパンフレットの配付をおこなうことで、サービスを選択するために必要な情報が確実に届くように努めています。 子どもや保護者が理解しやすい情報提供方法の工夫をしています 施設では、提供する情報をできるだけわかりやすくするため表記や内容の工夫をしています。小学生向けのおたよりにはふりがなを使用し、子ども自身が内容を理解しやすいように配慮しています。また、施設内の掲示物にはイラストを取り入れ、視覚的に伝わりやすいデザインに工夫しています。さらに、障がいのある子どもを受け入れる際には、事前に面談を実施し、保護者に対して利用方法や施設での支援体制について丁寧に説明をおこなっています。子どもや保護者が必要な情報を理解しやすい形で提供し、安心して施設を利用できる環境を整えています。 施設見学を実施し、施設の特徴や活動内容について説明しています 施設見学の際には、担当職員が館内の説明をしています。見学の受け付けは電話のほか直接来館による申し出にも対応し、特に児童館と学童クラブの利用を迷っている保護者には、それぞれの違いを明確に説明することで適切な選択ができる支援をしています。また、イベントに関する説明では、子どもたちが楽しむことを重視している点や施設の特徴・活動内容についても伝えています。子どもや保護者が施設の利用について納得したうえで選択できるように努めています。		

サブカテゴリー2			
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	8/8
評価項目1 サービスの開始にあたり子どもや保護者に説明し、理解を得ている 評点(〇〇〇)			
評価	標準項目		
☒ あり ☐ なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を子どもや保護者の状況に応じて説明している		☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. サービス内容や利用者負担金等について、子どもや保護者の理解を得るようにしている		☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. サービスに関する説明の際に、子どもや保護者の意向を確認し、記録化している		☐ 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている 評点(〇〇〇〇〇)			
評価	標準項目		
☒ あり ☐ なし	1. サービス開始時に、子どもの援助に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. サービス利用前の生活をふまえた支援を行っている		☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	4. 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)の受入れに向けた配慮及び環境整備を行っている		☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	5. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、生活の連続性に配慮した支援を行っている		☐ 非該当
サブカテゴリー2の講評			
入会前の説明会や面談を通じて、利用に関する説明をおこない意向を確認しています 学童クラブでは、子どもや保護者が安心して利用できるように、サービス開始にともない状況に応じた説明をおこなっています。入会前には説明会を開催し、子どもたちが過ごす際の基本的なルールや重要事項について保護者に説明しています。また、入会面談の際には、学童クラブでの一日の流れや具体的なルールについて丁寧に案内し、利用に関する理解を深めてもらうよう努めています。さらに、食材の取り扱いや写真掲載の意向確認、エビペンの使用に関する同意書を交わし、保護者の意向を尊重した対応をしています。 新1年生が無理なく環境に慣れることが出来るように、丁寧に説明しています 施設では、新1年生が環境の変化に徐々に慣れ、安心して過ごせるように段階的な対応をおこなっています。各部屋の使い方や学童クラブのルールについては、一度に説明するのではなく段階的に伝えることで、子どもたちが無理なく理解できる配慮をしています。利用開始直後には、不安やストレスを軽減できるように丁寧な声掛けをおこない、子どもたちが落ち着いて過ごせる環境を整えています。加えて、保護者にはお迎えの際に子どもの学童クラブでの様子を伝え、家庭とも連携しながら安心して通えるように努めています。 退会・卒業後も施設が利用できることを伝え、継続した支援に努めています サービスを終了する際に子どもの不安を軽減し、生活の連続性に配慮した支援をおこなっています。退会する子どもや保護者には、併設している子ども中高生プラザを案内し、一般利用としていつでも訪れることができることを伝えていきます。学童クラブの退会後も安心できる居場所が持てる配慮をしています。また、卒業する子どもに対しては、ボランティアとして活動できる機会があることを伝え、学童クラブとのつながりを持てる支援をしています。子どもや保護者が学童クラブの終了後も、継続的な関わりを持てる工夫をしています。			

サブカテゴリ-3		
3	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 10/10
評価項目1 子どもの視点に立った育成支援の目標に沿って育成支援の計画を作成している 評点(〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 育成支援の計画は、目標に沿って年間を見通して作成している	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 育成支援の計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、援助の過程を踏まえて作成、見直しをしている	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)に対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	4. 育成支援の目標や計画について保護者の理解を得られるように説明している	☐ 非該当
評価項目2 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 育成支援の計画に沿った援助の内容について具体的に記録している	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)については一人ひとりの子どもの状況や援助の内容を具体的に記録している	☐ 非該当
評価項目3 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
☒ あり ☐ なし	1. 育成支援の計画の内容や記録を、職員すべてが共有し、活用している	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	☐ 非該当
サブカテゴリ-3の講評		
アンケートや意見箱を活用し、子どもの意見を反映した年間目標を作成しています 年間目標や月間目標は、子どもたちの意見や日々の様子をもとに設定し、状況に応じて見直しをおこなっています。イベントや学童クラブで提供するおやつについては、年度末に実施するアンケートを通じて子どもたちの要望を把握し、改善に活かしています。また、意見を収集するために意見箱や意見カードを設置し、子どもたちの声を計画に反映させる仕組みを整えています。各計画は担当職員が立案し、放課後児童クラブ運営指針にもとづいて策定しています。入社時には、この指針を学ぶ機会を設けており、事務室にも常に閲覧可能な状態で備えています。		
保護者や学校と連携し、発達面の支援方法を検討しています 発達面で特に配慮が必要な子どもに対しては、保護者や学校、関連機関と連携を取りながら、援助の方法について面談を通して保護者に伝えています。子どもの日々の様子を個人記録として残し、それをもとに1日の計画を立て、支援内容を決定しています。港区の巡回指導や社内の巡回指導を活用し、専門家の指導を受けながら対応しています。また、学校との連絡会を月1回おこない、学校での様子や保護者の状況を把握しながら放課後の過ごし方を共有し、子どもに必要な支援を検討しています。		
記録を職員で共有し、必要な情報を管理・活用しています 計画や記録は、すべての職員が活用できるように管理しています。また、月間記録は職員が閲覧できるように事務所内の書庫に保管しています。日々の業務の中で必要な情報は毎日のミーティングで共有し、子どもや保護者の状況の変化に応じた改善策や新たな目標を全職員で設定しています。また、子どもや保護者の様子については、1日2回のミーティングで情報を共有し、支援の方向性を統一しています。ミーティングに参加できなかった職員には、ミーティングノートを通じて情報を伝達し、全員が状況を把握できるようにしています。		

サブカテゴリ-5			
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
☒ あり ☐ なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている		☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 子どものプライバシーに配慮して援助している		☐ 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
☒ あり ☐ なし	1. 日常の援助の中で子ども一人ひとりを尊重している		☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮して援助している		☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. 学童クラブ内の子ども間の暴力・いじめ等が行われることのないよう組織的に予防・再発防止を徹底している		☐ 非該当
サブカテゴリ-5の講評			
職員向けの研修やミーティングを通じて、個人情報適切に取り扱っています 子どもに関する情報を外部とやりとりする必要がある場合には、必ず保護者の同意を得たうえで対応しています。個人情報を取得する際も、おたよりや申込書を通じて保護者の同意を得るようにしており、情報の取り扱いに細心の注意を払っています。業務マニュアルには個人情報の管理方法についての記載があり、職員はその内容を遵守するように取り組んでいます。さらに、職員全員が個人情報保護に関する研修を受ける機会を設け、継続的な学習をおこなっています。定期的にミーティングで確認の場を設けることで、適切な対応ができるように努めています。 子どものプライバシーに配慮し、適切な支援をおこなっています 施設では、子どものプライバシーを保護しながら支援をおこなっています。トイレの練習時や嘔吐時には、子どもの羞恥心に配慮し、他の子どもがいない場所に対応するようにしています。着替えの際には、更衣室としてダンススタジオ内の男女別の部屋を使用し、不安がある場合には同性の職員が付き添うようにしています。さらに、屋上にも更衣室を設置し、水遊びなどの際にはその更衣室を使用することで、子どもが安心して着替えられる環境を整えています。 職員同士で支援の質を確認し合い、子どもを尊重する環境を整えています 施設では、子どもの権利を擁護し、意思を尊重する支援をおこなっています。職員には、どの場面を切り取っても適切な育成をおこなうためミーティングを通じて周知し、支援の質を維持できるように努めています。また、職員同士で注意し合える環境づくりを進め、日常の援助の中で子ども一人ひとりを大切にしています。さらに、職員が子どもの人権を尊重するだけでなく、子ども同士でも互いの人権を尊重する必要性を指導し、思いやりのある関係を築ける支援をしています。			

サブカテゴリー6			
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(○○○)	
評価	標準項目		
☒ あり ☐ なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		☐ 非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(○○)	
評価	標準項目		
☒ あり ☐ なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている		☐ 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や子ども・保護者等からの意見や提案を反映するようにしている		☐ 非該当
サブカテゴリー6の講評			
施設独自のマニュアルを作成し、職員が適切に業務を遂行できるようにしています 施設独自のマニュアルを作成し、新しく入職した職員でも業務の手順が分かる環境を整えています。業務マニュアルは事務所内に保管し、守るべき事項を明確に示すことで、職員が適切に業務を遂行できるようにしています。また、施設内のルールもマニュアル化し、具体的な手順を示すことで、業務の標準化を図っています。職員が統一された基準にもとづいて業務をおこない、子どもや保護者に対して安定したサービスを提供できる体制を整えています。さらに、月1回の安全テストを実施し、マニュアル内容を確認する機会を設けています。 子どもや保護者、職員の意見を反映し、施設のルールや手順を見直しています 施設では、よりよいサービスを提供するために子どもや保護者、職員の意見を反映しながら、基本事項や手順の見直しをおこなっています。施設内のルールやイベントについては、アンケートを実施し、意見を取り入れながらルールの設定や改善を進めています。子どもや保護者からの要望として、イベントの定員の増加を求める声が多く寄せられたため、イベントの回数を増やし、人気のあるイベントについては抽選制を導入することで対応しています。職員からの意見も重視し、業務分担の見直しや新たなイベントの提案についても柔軟に取り入れています。 業務マニュアルを事務所に保管し、職員がいつでも確認できるようにしています 業務マニュアルは事務所内に保管し、職員がいつでも確認できるようにすることで円滑に業務をおこなえる配慮をしています。マニュアルが改定された際には、ミーティングなどで周知し、回覧することで全員が内容を把握できるようにしています。また、施設内のルールについては、職員一人ひとりが所持し、必要に応じて確認できるようにマニュアルとしても保管しています。学童クラブ室内には、おやつ提供手順や機械器具の衛生管理に関するマニュアルを掲示し、職員が常に適切な対応を取れるようにしています。			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 29/29
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じて援助している 評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目
☒ あり ☐ なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで援助している 〇 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め、お互いを尊重しながら協力し合い、関係を豊かに作り出せるよう援助している 〇 非該当
☒ あり ☐ なし	3. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか等)に対し、子どもの意見に耳を傾け、感情の高ぶりを和らげること等ができるよう援助している 〇 非該当
☒ あり ☐ なし	4. 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)が、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している 〇 非該当
評価項目1の講評	
保育園との情報共有や学校との連携を通じて、発達に応じた支援をおこなっています 施設では、子ども一人ひとりの発達や生活環境を把握し、適切な支援をおこなうために情報共有をおこなっています。小学校入学前には、保育園の先生と引継ぎをおこない、必要な対応や対策について情報交換をしています。子どもの特性や支援の必要性を把握し、スムーズに学童クラブへ移行できるように努めています。また、保護者に支援が必要な場合は早めに声をかけることで不安を軽減し、安心して入会ができる配慮をしています。入会後も、学校と連携しながら支援を継続し、子どもの発達過程を総合的に理解したうえで援助をおこなっています。 学年を超えて交流できる場を設け、子ども同士の関わりを促しています 図書学習室やラウンジなど、学年の枠を超えて交流できる場を設け、さまざまな学年の子どもが関わり合える機会を提供しています。コミュニケーションの上で援助が必要な場合は、職員が適切に見守り、必要に応じて対応しています。また、職員が関わりすぎるのではなく、子ども同士が互いを尊重しながら自主的にコミュニケーションを取ることを大切にし、関係性を築けるように指導しています。こうした取り組みにより、子どもたちが主体的に交流し、異なる学年や背景を持つ仲間とのつながりを深めながら、社会性を育むことができる環境を整えています。 子どもが集団生活で良好な関係を築けるように支援しています 職員は、子ども一人ひとりを尊重しながら、集団生活の中で良好な関係性を築ける支援をしています。トラブルが発生した際には、子どもたち自身で解決できるように見守り、職員の介入が必要な場合には、それぞれの意見を丁寧に聞きながら話し合いを進め、適切な対応ができるように努めています。感情が高ぶってしまう子どもに対しては、落ち着いて気持ちを整理できるように別室を準備するなど環境を整えています。また、子どもたちとのコミュニケーションを大切に、些細な変化にも気づけるように見守り、積極的に声掛けをしています。	
2 評価項目2 日常の援助を通して、子ども一人ひとりの生活や遊びと集団全体の生活が豊かに展開されるよう工夫している 評点(〇〇〇)	
評価	標準項目
☒ あり ☐ なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、発達段階にふさわしい遊びと生活を送ることができるよう環境を工夫している 〇 非該当
☒ あり ☐ なし	2. 子どもが集団活動に主体的に関われるよう、援助している 〇 非該当
☒ あり ☐ なし	3. 生活や遊びを通して日常生活に必要な基本的な生活習慣を習得できるよう、援助している 〇 非該当
評価項目2の講評	
興味や気分に応じて自由に遊び場を選べる環境を整え、自主的な活動を促しています 体育館では体を動かし、プレイルームでは座ってボードゲームを楽しみ、図書学習室では静かに本を読んだり学習をしたりするなど、各部屋の過ごし方を指導しています。子どもたちは自分の興味や気分に応じて、場所を自由に選択できるようになっており、自主的な活動を促しています。また、職員は子どもたちの遊びのバリエーションやニーズに応えるため、必要な道具を揃えられるように積極的に意見を取り入れています。子どもたちが自らの興味に沿った活動を選び、充実した時間を過ごせる環境を整えています。 集団活動に主体的に参加できるように、一人ひとりの特性に応じた環境を整えています すべての行事は子ども自身が選び、参加することを原則としています。集団活動が苦手な子どもには、別室で対応するなど個別の支援をおこない、一人ひとりの特性に応じた環境を整えています。また、港区内の児童館等とのドッジボールやフットサルの交流会に参加し、子どもたちが異なる集団と関わる機会を提供しています。交流会に向けて有志の子どもたちが自主的に練習をおこない、仲間と協力しながら活動する楽しさを体験できるように工夫することで集団活動への主体的な参加を促しています。 言葉遣いや挨拶を行事や遊びの中で指導し、自然に習得ができる支援をしています 施設では、子どもたちが日常生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるように、生活や遊びを通じて援助をおこなっています。日頃のコミュニケーションだけでなく、行事や遊びの中で、言葉遣いや挨拶について指導し、子どもたちが自然に習得ができる働きかけをしています。また、学童クラブに到着してからの流れを室内に掲示して視える化することで、活動の切り替えをしやすい工夫をしています。手洗い場には正しい手洗いの方法や汚れの残りやすい箇所を示し、子どもたちが意識して手を洗えるように配慮して定着を促しています。	

3

評価項目3

日常の活動に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目
☒ あり ☐ なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している ☐非該当
☒ あり ☐ なし	2. 子ども同士が意見を出し合いながら企画や活動をつくり上げていく機会を設けている ☐非該当
☒ あり ☐ なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている ☐非該当

評価項目3の講評

実際に体験するなど、自主的に行事やプログラムへ参加ができる工夫をしています

職員は、子どもたちが興味を持ち、自ら進んで行事に取り組める工夫をおこなっています。すべてのイベントは強制ではなく自主的に参加するものであり、保護者にも事前に周知することで、子どもが興味を持ちやすい環境を整えています。通年のプログラムでは、子どもたちが実際に体験したうえで、興味を持ってこれからも続けたいものに申し込む形式を取り、継続できるようにしています。さらに、太鼓やダンス、琴などのイベントでは、年に数回発表の機会を設けることで、子どもたちが達成感を得られる場を提供しています。

子ども会議を通じて意見を出し合いながら、行事の企画・運営をおこなっています

施設では、年に3回ほど子ども会議を実施し、行事の内容や施設のルールについて話し合い、子どもたち自身が活動をつくり上げる場を提供しています。8月に開催する縁日では、子どもたちの意見をもとにブースの内容を決定し、準備や運営も子どもたちが担当しました。子どもたちが主体的に活動に参加できるように、意見を出し合いながら企画や運営をおこなう機会を設け、自分の考えを発信し、友だちと協力しながら作り上げることで、主体性や協調性を育む環境を整えています。

ボランティアの依頼やおたよりを活用し、行事への保護者の協力を得ています

外出時には、おたよりやしおりを活用し、必要な持ち物や注意事項を周知するとともに、協力を依頼するなど、保護者の理解と協力を得ることが出来るように工夫しています。特に、夏の館内宿泊では、宿泊行事としての特性を踏まえ、事前に保護者会を実施し、行事の内容を伝えたくて協力を求めています。朝食づくりについては、ボランティアとして保護者に参加を依頼し、子どもたちが意欲的に活動に取り組める支援をしています。ボランティアの募集をおこなうことで、保護者にも行事の詳細を周知し、理解を深めてもらう機会を設けています。

4

評価項目4

子どもの主体性を尊重し、学童クラブでの生活が楽しく、快適になるような取り組みを行っている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目
☒ あり ☐ なし	1. 子どもが自ら進んで学童クラブに通い続けられるよう援助している ☐非該当
☒ あり ☐ なし	2. 共通する生活時間の区切りをつくり、子ども自身が見通しを持って主体的に過ごせるよう援助している ☐非該当
☒ あり ☐ なし	3. 子どもが安心して活動できるよう、状況に応じて室内の環境を工夫している ☐非該当
☒ あり ☐ なし	4. 【「新・放課後子ども総合プラン」「都型学童クラブ実施要綱」に基づき放課後子供教室と一体型で実施、または連携して実施する場合】 ☐非該当

評価項目4の講評

子どもが楽しく通えるように、保護者と連携して快適な環境づくりに努めています

学童クラブの子どもが主体的に通い続けられる支援をし、楽しく快適に過ごせる環境づくりに努めています。子どもの様子に気になる点があった際には、家庭に電話をしたりお迎えの際に保護者に確認したりするなど、子どもが安心して学童クラブでの生活を継続できる配慮をしています。また、休みがちな子どもには、定期的に保護者へ連絡を入れ、近況や様子を伺いながら、子どもが通いやすい環境を整えています。保護者との連携を深めることで、子どもの気持ちに寄り添いながら支援し、学童クラブでの生活が楽しく、快適なものとなるように努めています。

日直制度など、子どもが主体的に集団活動に関わる仕組みを整えています

学童クラブの子どもたちが生活の見通しを持ち、主体的に過ごせるように環境の工夫や取り組みをおこなっています。学童クラブ内での学習やおやつの喫食、帰りの会のレクリエーションは集団で実施し、共通の生活リズムをつくることで子どもたちが一日の流れを把握しやすいようにしています。また、活動の流れを掲示し、可視化することで、行事や帰りの会の時間を理解しやすいように支援しています。学童クラブ児童の集合時には放送を活用し、日直制度を取り入れることで、子どもたちが主体的に関わる仕組みを整えています。

子どもが安心して過ごせるように、休息スペースを設けるなど環境を整えています

学童クラブでは、子どもたちが安心・安全に活動できるように環境の工夫や指導をおこなっています。1日の流れは決まっているものの、子どもが自由に過ごせる場所を提供し、希望者には横になれるスペースや体を休めるスペースを設けるなど、状況に応じた環境整備をしています。遠足や近隣保育園との連携行事などの戸外活動では、安全に活動できるように職員が必ず事前に現地を確認し、危険箇所などを把握して引率する職員全員で情報を共有しています。また、引率の際には交通ルールやマナーの指導をおこなっています。

21 / 26

5	評価項目5 子どもが日々の生活を円滑に過ごせるよう、学校等と密に連携を図っている 評点(〇〇〇)												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 子どもが学童クラブでの生活を円滑に過ごせるよう、学校との情報交換や情報共有等密に連携して援助している</td> <td>○ 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 不登校など課題を抱える子どもについて、学校と密に情報共有しながら子どもの気持ちに配慮して援助している</td> <td>○ 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)や養育環境で特に配慮が必要な子どもの援助にあたっては、関係機関(教育機関、福祉関係機関、医療機関等)と連携をとって行っている</td> <td>○ 非該当</td> </tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子どもが学童クラブでの生活を円滑に過ごせるよう、学校との情報交換や情報共有等密に連携して援助している	○ 非該当	●あり ○なし	2. 不登校など課題を抱える子どもについて、学校と密に情報共有しながら子どもの気持ちに配慮して援助している	○ 非該当	●あり ○なし	3. 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)や養育環境で特に配慮が必要な子どもの援助にあたっては、関係機関(教育機関、福祉関係機関、医療機関等)と連携をとって行っている	○ 非該当	評価項目5の講評 小学校と月1回の連絡会を実施するなど、情報を共有して活動の支援をしています 施設では、小学校と月1回の連絡会を実施し、情報を共有するなど学校と密に連携しながら支援をおこなっています。年度始めには、新1年生が安心して学童に通えるように学校の教職員に依頼し、子どもたちの見守りをおこなっています。また、小学校が主催する通学路点検にも参加し、児童の通学路を学校の先生と合同で確認する機会を設け、安全な通行ができるように努めています。さらに、学校などでトラブルが発生した際には、学童と学校が相互に連絡を取り合い、状況を把握しながら適切な対応をおこなう体制を整えています。 学校や保護者と連携し、学童を安心できる居場所として活用できる配慮をしています 施設では、不登校などの課題を抱える子どもに対し、学校と密に情報共有をおこないながら、子どもの気持ちに配慮した支援をしています。不登校の子どもがいる場合には、学校との連絡会で状況を共有し、学童での対応について協議をおこなっています。また、保護者から学童の利用希望がある場合には、子どもの状況に応じて個別に対応し、無理のない形で利用できる配慮をしています。小学校には通えなくても、子どもや保護者の希望に応じて学童の一般来館をすすめることで、安心できる居場所として活用できる支援をしています。 関係機関と連携をとり、こどもの状況に応じた支援体制の強化に努めています 障がいのある子どもや養育環境に配慮が必要な子どもに対し、関係機関と連携しながら適切な支援をおこなっています。学校の先生や巡回指導の先生との情報共有を密におこなうだけでなく、放課後デイサービスとも連携し、子どもの状況に応じた支援ができるように努めています。また、子ども家庭支援センターや児童相談所とも定期的に連携を取り、こども一人ひとりの生活環境や発達状況に配慮した対応を進めています。さらに、年に2回の地域懇談会には関係機関の担当者を招待し、情報交換や意見交換をおこなうことで、支援体制を強化しています。
評価	標準項目												
●あり ○なし	1. 子どもが学童クラブでの生活を円滑に過ごせるよう、学校との情報交換や情報共有等密に連携して援助している	○ 非該当											
●あり ○なし	2. 不登校など課題を抱える子どもについて、学校と密に情報共有しながら子どもの気持ちに配慮して援助している	○ 非該当											
●あり ○なし	3. 障害のある子ども(発達面で特に配慮が必要な子どもを含む)や養育環境で特に配慮が必要な子どもの援助にあたっては、関係機関(教育機関、福祉関係機関、医療機関等)と連携をとって行っている	○ 非該当											
6	評価項目6 子どもがおやつを楽しめるよう援助している 評点(〇〇〇)												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 子どもが楽しく、落ち着いておやつをとれるような雰囲気作りに配慮している</td> <td>○ 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 子どもの来所時間や夕食の時間帯等を考慮して提供時間や内容、量等に工夫を凝らしている</td> <td>○ 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 子どもの食物アレルギーの状況に応じたおやつを提供している</td> <td>○ 非該当</td> </tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いておやつをとれるような雰囲気作りに配慮している	○ 非該当	●あり ○なし	2. 子どもの来所時間や夕食の時間帯等を考慮して提供時間や内容、量等に工夫を凝らしている	○ 非該当	●あり ○なし	3. 子どもの食物アレルギーの状況に応じたおやつを提供している	○ 非該当	評価項目6の講評 おやつは複数から選べるようにするなど、楽しめるように工夫しています 職員は、子どもたちがおやつの時間を楽しく落ち着いて過ごせるよう、環境や提供方法に工夫をおこなっています。時間と座席を指定し、安心して食べられる雰囲気を整えることで、子どもたちがリラックスしながらおやつを楽しめるよう配慮しています。また、おやつは毎日複数の種類から選べるようにし、子どもたちが自分で選ぶ楽しさを感じられるよう工夫しています。さらに、季節に合わせたフルーツを取り入れたおやつを提供し、職員がトッピングを加えるなど、手作りの要素を取り入れることで、食の楽しさを広げています 子どもの体調や希望に応じて、おやつの量を柔軟に調整しています 施設では、子どもたちの状況に応じたおやつの提供をおこない、無理なく楽しめる工夫をしています。子どもの来所時間や夕食の時間帯を考慮し、学年ごとにおやつの提供時間をずらすことで、子どもたちが落ち着いて食べられる環境を整えています。また、提供する量についても、夕食に影響が出ないよう配慮し、適量を心がけています。その日の子どもの体調や希望に応じて、量の調整も柔軟におこなっています。こうした対応を通じて、子どもたちが無理なくおやつを楽しみながら、快適に過ごせる支援をしています。 アレルギー対応の意識を高める研修を実施するなど、安全管理を徹底しています 学童クラブでは、子どもの食物アレルギーに配慮し、安全におやつを提供できる工夫をしています。食物アレルギーを持つ子どもには、業務マニュアルに沿って個別の対応をおこない、適切なおやつを提供しています。提供時には、マニュアルの手順を都度、確認して安全管理を徹底しています。また、新しく入職した職員には、マニュアルのほかにアレルギーによる死亡事故例を共有し、子どもの命を預かっている意識を高く持てる研修をおこなっています。子どもたちが安心しておやつを楽しめる環境を整え、安全管理の徹底を図っています。
評価	標準項目												
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いておやつをとれるような雰囲気作りに配慮している	○ 非該当											
●あり ○なし	2. 子どもの来所時間や夕食の時間帯等を考慮して提供時間や内容、量等に工夫を凝らしている	○ 非該当											
●あり ○なし	3. 子どもの食物アレルギーの状況に応じたおやつを提供している	○ 非該当											

7	評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している 評点(〇〇)																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるよう援助している</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 医療的ケアが必要な子ども等に、専門機関等との連携に基づく対応をしている</td> <td>○非該当</td> </tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるよう援助している	○非該当	●あり ○なし	2. 医療的ケアが必要な子ども等に、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当										
評価	標準項目																			
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるよう援助している	○非該当																		
●あり ○なし	2. 医療的ケアが必要な子ども等に、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当																		
	評価項目7の講評 交通安全などを学ぶ機会を提供し、怪我を予防出来るように援助しています 施設では、子どもたちが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防できるように、さまざまな工夫をおこなっています。警察職員と警察のスクールサポーターとともに地域を巡り、交通安全や危険予知について学ぶ「安全マップ作り」や、自転車シュミレーターを使用して安全な乗り方を学ぶ「自転車シュミレーター教室」を実施し、子どもたちが実際の場面を想定しながら安全意識を高められる機会を提供しています。また、毎日帰りの会をおこない、安全指導を実施し、子どもたちが日常生活の中で安全を意識できるように支援しています。 保護者との連携を通じて、子どもの安全確保や適切な対応に努めています 施設では、子どもの安全を確保し、適切な対応をおこなうために、保護者や関係機関と密に連携しています。怪我や事故が発生した際には、できるだけ現場に居合わせた職員が保護者へ連絡し、状況を的確に伝えられるように努めています。特に通院が必要な怪我や首から上の怪我については、必ず保護者に連絡を入れるなど、適切な対応を徹底しています。さらに、健康上で配慮を要する場合は、緊急時の対応方法や連絡先、かかりつけ医などについては事前に保護者との面談で確認し、職員全体で共有することで、緊急時にも迅速に対応できる配慮をしています。																			
8	評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている 評点(〇〇〇〇〇)																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 保護者同士が交流できる機会を設けている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>4. 子どもの様子や発達の状況について、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている</td> <td>○非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>5. 子どもの出欠席の確認など、保護者と協力して安全を確保する取り組みを行っている</td> <td>○非該当</td> </tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当	●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当	●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当	●あり ○なし	4. 子どもの様子や発達の状況について、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当	●あり ○なし	5. 子どもの出欠席の確認など、保護者と協力して安全を確保する取り組みを行っている	○非該当	
評価	標準項目																			
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当																		
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当																		
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当																		
●あり ○なし	4. 子どもの様子や発達の状況について、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当																		
●あり ○なし	5. 子どもの出欠席の確認など、保護者と協力して安全を確保する取り組みを行っている	○非該当																		
	評価項目8の講評 保護者会の開催方法を工夫するなど、就労状況に配慮して支援しています 保護者へ連絡をする際には、児童票をもとに連絡の優先順位や注意点を確認し、就労状況に配慮しながら適切に連携をとるように努めています。また、多忙で保護者会に参加が難しい保護者には、個別での説明や資料の配布をおこない、必要な情報が確実に伝わる工夫をしています。さらに、保護者会は平日の夕方と土曜日の日中の2回に分けて開催し、さまざまな就労状況の保護者が参加しやすい環境を整えるなど、保護者の就労状況や個々の事情に配慮しながら、子育て支援をおこなっています。 積極的なコミュニケーションを通じて、保護者との信頼関係を深めています 職員は、保護者との信頼関係を深めるために、日頃から積極的に保護者とコミュニケーションをとっています。子どもたちの様子が伝わるようなメッセージを連絡帳に添えたり、お迎え時にこまめに様子を伝えたりすることで、保護者が安心できる配慮をしています。また、直接顔を合わせる機会が少ない保護者に対しては、出欠連絡アプリのコメント機能を活用したり、電話で状況を伝えたりするなどの工夫をしています。日頃から保護者との連携を大切にし、子どもに関する気になる点や変化があれば、その度に情報を共有しながら対応をおこなっています。 保護者会や個人面談を活用して、こどもの成長や日々の様子を共有しています 職員は、学童クラブ児童の保護者会や年1回の個人面談を通じて、子どもたちの様子を詳しく伝える機会を設け、成長の過程や日々の生活の様子を共有しています。また、子どもの行動や発達に気になる点があった際には、保護者へ電話連絡をおこない、状況を伝えることで密な連携を図っています。さらに、保護者会では写真を使用し、スライドショーを活用することで、イベントやおやつ時間、日常の過ごし方などを視覚的に伝えています。保護者が子どもの学童での様子を具体的に把握しやすくなり、家庭と連携しながら成長を支える環境を整えています。																			

9	評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
	評価	標準項目	
	☒ あり ☐ なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	☐ 非該当
	☒ あり ☐ なし	2. 学童クラブの行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが地域の子どもや大人と交流できる機会を確保している	☐ 非該当
評価項目9の講評			
さまざまな体験が出来るように、地域資源を活用した活動を実施しています 学童クラブで実施する遠足では科学館や博物館を訪れるなど、子どもたちが楽しみながら学べる環境を提供しています。また、「放課後GOクラブ」との交流行事では、近隣の小学校体育館を使用し、異なる学童クラブの子どもたちと交流できる機会を設けています。さらに、警察職員と警察のスクールサポーターとともに地域を巡り、安全マップを作成する活動を通し、自分の身を守るために必要な知識や交通ルールを学ぶ機会を提供しています。 高齢者施設や保育園など、地域の多世代と交流する機会を提供しています 施設では、地域の人と交流できる機会を確保し、地域とのつながりを深める取り組みをおこなっています。同じ建物内にある高齢者施設との交流を年2回実施し、夏には施設周りで打ち水をおこなったり、ビーズを使ったアクセサリ作りを通して高齢者とのふれあいを深めたりしています。さらに、同じ施設内の保育園とも交流し、絵本の読み聞かせをおこなうことで、異年齢との関わりを経験する機会を提供しています。子どもたちが地域のさまざまな世代の人々と関わりながら、多様な経験を積み、社会性を育むことができる支援をしています。 中高生が気軽に参加できるイベントを用意し、安心できる居場所を提供しています 施設では、1人で来ても気軽に参加できるイベントを多数用意し、中高生世代が安心して過ごせる居場所を提供しています。また、地域の方々にボランティアとしてイベントに参加してもらい、中高生と地域をつなぐ活動を定期的に行っています。中高生への情報発信として、SNSを活用するほか、中学校や高校へお便りを配布し、掲示してもらうことで、利用しやすい環境づくりを進めています。さらに、職員は合唱コンクールや文化祭などの学校行事にも積極的に参加し、学校職員との連携を図りながら、中高生が安心して利用できる支援をしています。			

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル①	地域と連携をし、乳幼児期から継続的に子育て家庭を支援しています	
内容①	乳幼児活動として、月に1回民生委員を招き、保護者が育児相談をできる機会を設けています。また、環境衛生講話や管理栄養士による離乳食講話などを実施し、保護者の不安を解消できる工夫をしています。さらに、消防署や近隣の飲食店とも連携し、イベントを通じた交流の場を提供することで、地域全体で子育てを支える環境を整えています。乳幼児期から施設を利用し、学童クラブへ入会する子どももいるため、幼少期からの関わりを大切にし、保護者が安心して子育てできる継続的な支援をおこなっています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-2	日常の援助を通して、子ども一人ひとりの生活や遊びと集団全体の生活が豊かに展開されるよう工夫している
タイトル②	小学生がさまざまな体験を通じて成長できるように、多様なプログラムを実施しています	
内容②	施設では、1年間継続して取り組む「通年プログラム」、月に1回実施する「定期プログラム」や「特別プログラム」を通じて、子どもたちが興味を持つ活動に主体的に参加できる環境を整えています。これらの活動では、地域の人との関わりやさまざまな職業に触れる機会を設け、「なりたい自分になる力を育む」という理念のもと支援をおこなっています。また、子どもたちが取り組んだ成果を発表する機会を年に数回設けており、成長を実感できる場を提供しています。子どもたちが主体的に学び、自らの可能性を広げながら成長できる環境を整えています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル③	職員の積極的な新しいことへチャレンジする姿勢を促しています	
内容③	基本的なサービスを提供する上での知識などの教育の他に、職員が積極的に新しいことにチャレンジすることを推奨しています。毎月の「特別イベント」では、ダンスや工作など、それぞれの職員が得意なことをテーマに企画しています。竹芝地区のイベントへの参加なども積極的におこなっています。地域のボランティア活動を受け入れる取り組みもおこない、地域との連携を積極的に継続しています。	

No. 特に良いと思う点	
1	タイトル 中高生の居場所づくりに力を入れ、1人でも参加できるプログラムを開催するなど、気軽に利用できる環境を整えています
	内容 中高生が一人でふらっと立ち寄っても参加できるプログラムを開催し、地域の方々との交流の機会も設けることで、中高生が自然と仲間を増やしながらかつて過ごす場を提供しています。音楽スタジオなどを利用する中高生には、成果を発表する機会を設け、自分の取り組みを披露できる場を確保しています。また、こうした活動の中で、他の子ども中高生プラザを利用する子どもたちとの交流も生まれ、合同の行事を通じて新たなつながりを築く機会を提供しています。学童クラブの利用終了後も来館出来るような環境を整えることで、継続して成長を見守っています。
2	タイトル 特別な配慮を必要とする子どもについて、巡回指導やケース検討会を活用し、適切な支援が提供できる体制を整えています
	内容 障がいを持つ子どもや配慮が必要な子どもについては、入所前に面談を実施し、子ども一人ひとりに適した支援方法を検討しています。また、社内でのケース検討会には全職員が参加できるように調整し、他施設での支援方法を学ぶ機会を設けることで、支援の質を向上させています。特別な支援や配慮が必要な子どもには、港区の巡回指導や社内の巡回指導を活用し、専門家の助言を受けながら適切な対応をおこなっています。さらに、学校との連絡会を月1回実施し、学校での様子や保護者の意向を把握しながら、放課後の支援に反映しています。
3	タイトル 幅広い年齢の子どもたちの居場所として、地域の中での子育て支援の拠点として活動しています
	内容 乳幼児期から高校3年生までができる子ども中高生プラザの特色を活かして、幅広い年齢の子どもの居場所としてサービスを提供しています。乳幼児の際に利用していた子どもが小学生、中高生になっても来館することが多く、小学校を卒業した後には近況報告に来館する子どもも多く見られます。小学生向けのイベントを開催する際には中高生がイベントのボランティアとして活躍しています。地域懇談会や連絡会などで情報交換し、地域の方や学校との連携をとることで、地域の子育て支援となるように取り組んでいます。
No. さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル 継続的な研修やマニュアルの内容周知など、職位に適した教育で一人ひとりのスキルアップにつなげていくことが期待されます
	内容 施設では、定期的なミーティングでマニュアルの内容確認をおこなうことを基本とし、入社時における7日間研修や安全管理、コンプライアンス、STEAM教育などの多様な研修で職員の教育をおこなっています。評価者研修などの管理職向けの研修もおこない、職員教育が円滑におこなえる取り組みをしています。人事異動などによる職員の入れ替えに組織として適用するため、今後もそれぞれの職位に適した教育を職員一人ひとりのスキルアップにつなげていくことが期待されます。
2	タイトル 施設の認知度の向上や新たな地域交流を深め、より魅力的な活動の場を広げていくことを期待します
	内容 施設では、年間を通して乳幼児から中高生まで幅広い年齢層に向けたさまざまなイベントを実施しています。施設内での活動にとどまらず、警察署や消防署、高齢者施設など地域の機関と協力しながらイベントを開催することで、こどもたちの体験の幅を広げています。今後の課題としては、より多くの利用者に施設の存在を知ってもらうことが必要であると考えています。こどもたちからの要望に応じたイベントの企画や、新たな地域とのつながりを築くことで、より魅力的な活動の場を広げていくことを期待します。
3	タイトル 利用者に身近で気軽に見れるSNSなどを通じて情報発信を強化していくことが期待されます
	内容 さまざまな方が気軽に参加できるようなイベントの開催に取り組んでいます。ダンスや工作などの、職員が得意なことを毎月の「特別イベント」として企画し、地域のボランティア活動の積極的な受け入れをおこない、既存のイベントもコロナ禍で変化した世の中の情勢に合わせて改善をしています。今後は利用者がより身近に感じて、簡単に情報が得られるように、SNSなどでの発信を積極的におこなっていくことが期待されます。